

令和2年度「地域発！いいもの」として選定された取組について(概要)

No.	都道府県	取組名称 (応募企業・団体名)	取組概要及び評価のポイント	○：取組の概要 ◆：審査のポイント
1	北海道	地域のブランド旭川家具を支える取組 (旭川家具工業協同組合)	○職人の高い技術力を基に、全国に旭川家具のブランド名を定着させ、各種イベントを通じて国内外に旭川地域の魅力を発信する取組。 ◆技能五輪全国大会、国際大会に早くから取り組み、優秀な成績を継続して上げており、優れた技能者育成の取組として評価された。 ◆旭川市工芸センター、旭川高等技術専門学院と旭川家具工業協同組合が連携して指導者を育成しており、地域的な広がりも評価された。	
2	福島県	伝統技術「からむし織」伝承と後継者育成 (株式会社奥会津昭和村振興公社)	○昭和村からむし生産技術保存協会や行政等と連携し、からむし原料の調達から製造、販売まで一体的に展開、伝統的な技術継承を行う取組。 ◆伝統的工芸に指定される非常に希少な価値の高い技能伝承であり、原料確保のための販売支援、技能者育成まで一貫して支援している取組として評価された。 ◆地元定着にも結びついており、この点も評価された。	
3	栃木県	「拓陽キスミル」で地域を活性化 ～届け私たちの思い 10,000人の後輩へ～ (栃木県立那須拓陽高等学校 食品化学同好会)	○那須塩原市と連携し、地元牧場の協力の下、オリジナル乳酸菌飲料「拓陽キスミル」を開発。市内の小中学校への製品の提供や食育活動も実施し、市の特産品である乳製品について理解を深めてもらう取組。 ◆高校生が主体となって製品の開発、販売を行い、その人材育成を行う取組として評価された。 ◆小中学校の学校給食への製品の供給、一般販売まで行い製品化した取組として評価された。	
4	東京都	ものづくり教育・学習フォーラム (大田区教育委員会)	○様々な協力団体・企業等と連携して、児童・生徒や保護者等を対象に大田区のものづくり産業への興味・関心を高める取組。ものづくり体験や舞台発表等のさまざまなイベントを行い、例年多数の来場者がある。 ◆教育委員会が中心になって、小中学校、都立特別支援学校、PTAや企業等、多くの関係者が参加しており、地域を巻き込んだ取組として評価された。 ◆全てものづくりをテーマとしたイベントで、多くの来場者があり大田区ならではの取組としても評価された。	
5	新潟県	「テクノ小千谷名匠塾」地域の企業全体で 取り組む技術者養成制度 (小千谷鉄工電子協同組合)	○組合が中心となり、地場産業である機械加工関係の技能を高い水準で維持、継承するよう、企業の垣根を越えて技能者を育成する取組。地域全体で取り組める制度ができたことで、地域産業全体の活性化にも寄与している。 ◆中越地震の影響がある中、地場産業の技能士育成に積極的に取り組んでおり、地域的な広がりも高く評価された。 ◆多数の技能士育成の成果を上げていることも評価された。	
6	石川県	学校で学んだ技術を生かした地域貢献 『実高ものづくり隊』 (石川県立大聖寺実業高等学校)	○授業の実習や部活動を通して培った技術を活かし、地元の小中学校や公共施設等から要望を聞き取り、それに対応するものを製作したり修理したりして課題を解決し、ものづくりで地域に貢献する取組。 ◆高校生が主体となって地域に必要とされるものを作っていくことで、地域貢献と実践的な教育を結びつけた取組として評価された。 ◆要望があれば、異なる種類のものや新しいものにもトライしており、素晴らしい取組として評価された。	
7	熊本県	伝統建築専攻科 伝統建築の技を受け継ぐ 人材を育てる (熊本県立球磨工業高等学校)	○高等学校建築科卒業後の2年課程で宮大工になろうとする人材を育成している。その学生が地元地域の住民や被災者の方々からの依頼を中心に、建築物の新築や修復をする取組。取組を通して建築技術の継承・技能者の育成に寄与している。 ◆宮大工の技能士の育成は希少性があり、技能者の育成の取組として評価された。 ◆高校生の人材育成と震災復興という地域貢献を結びつけている取組として評価された。	